

4自治体連携によるGreen Program For Employeeを活用した実証事業

～狭山市・所沢市・飯能市・日高市～

- ✓ 狭山市とは2022年度から脱炭素やまちづくりに関する課題・施策に関するご相談をいただく中で信頼関係を構築。2024年度に市内企業従業員の「行動変容を促す取組」のご相談を受け、NTTドコモビジネス社の「Green Program For Employee」をご紹介。埼玉県西部地域まちづくり協議会を巻き込んだ施策に発展し、狭山・所沢・日高・飯能の4市とNTT東日本埼玉西支店、NTTドコモビジネス社の6社で実証事業に関する連携協定を締結
- ✓ 4自治体及び民間企業43社/47事業所の皆さんにご参加頂き、実証期間を通じて2万回以上のエコアクション及び5876.3kg-CO₂eq(杉の木約668本分の年間CO₂吸収量に相当)を削減した

■取組の背景

- ・狭山市のCO₂排出量のうち産業部門が52%
- ・特定事業所が17%、中小企業が35%
⇒産業部門排出量57.4 t -CO₂は県内1位の排出量

狭山サステナビリティトランスフォーメーションプロジェクトの立上げ

2050年CO₂排出量実質ゼロの達成に向けて産業部門に属する
市内中小企業などの脱炭素化を推進するため、「排出量可視化」
「専門家の活用」に対する補助制度創設などに取り組む

市内企業の従業員の環境意識を高める取組についてのご提案要望を受領し、継続提案

■GreenProgram for employeeの提案

- ・自治体×地域企業のとりくみでの活用事例は初めての試みであるためNTTドコモビジネス社と連携し実証事業提案を実施

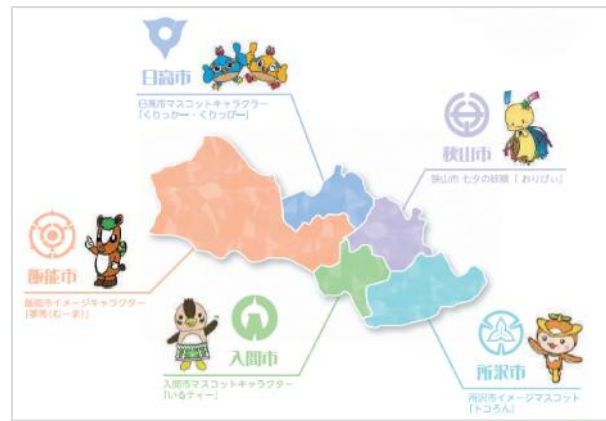


Green Program For Employeeの活用イメージ

- ① 脱炭素化に向けた取組の可視化と共有
- ② 従業員一人ひとりの行動変容を促す取組の実施
- ③ 地域企業間の連携による取組の推進
- ④ 地域企業間の連携による取組の推進

■展開

- ・狭山市が埼玉県西部地域まちづくり協議会の活動に沿って今回の取組を加盟自治体へ紹介し、NTT東日本と連携が深い所沢市様が賛同
- ・2市が連携して説明にあたり、飯能市・日高市を加えた活動に進展



■成果

- ・狭山市等からリリースが出ている通り、複数事業者に協力を頂き、Green Program For Employeeを自治体と共に対応することで、従業員の生活にまで踏み込んだ取組となった
- ・企業は電気料金等光熱費の削減やイメージ向上、自治体は集まったデータで施策立案や街づくりに生かし、既存事業の運用を見直すきっかけとなった
- ・また、日本経済新聞等にも取り上げられたことで、他自治体からの問合せも複数頂いており、横展開提案もスタートしている

<狭山市のリリース・レポート>



<NTTドコモビジネス社のレポート>

